

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年12月19日

【評価実施概要】

事業所番号	4770700146
法人名	医療法人 緑の会
事業所名	グループホーム イジュの花
所在地	〒 907-0001 沖縄県石垣市字大浜453番地の12 (電話) 0980-84-1212

評価機関名	沖縄県社会福祉協議会
所在地	沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
訪問調査日	平成19年12月14日

【情報提供票より】(H19年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14 年 11 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10 人 常勤 9 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 9.2

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	日常生活費200/日 円	
敷金	有(0 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(0 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 780 円			

(4) 利用者の概要(11月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 90 歳	最低 81 歳	最高 96 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	沖縄県立八重山病院	いそべ歯科医院
---------	-----------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

石垣島空港に近い静かな住宅街の民家を改装した当ホームは、入居されている高齢者の平均年齢は高いものの、現在女性のみであることからか皆お喋り好きで活気あふれるホームである。これまでの地域との付き合いホームの努力姿勢が着実に浸透していると感じられる。地域との交流においても、地域の祭りや道路清掃、近隣幼稚園との交流等も行っている。地域密着型サービスとしての今後さらなる充実に向けた取り組みを模索中であり、地域に根ざしたサービスがより進展されることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議等で改善策について検討がなされているが、西日の対策や、家庭的な浴槽の改善等については、もっと積極適に取り組まれるよう期待したい。
重点項目②	全職員が自己評価を行うことで自己評価及び外部評価への意義を理解している。さらに自己評価を職員が取り組むことで、スタッフのケアに関する意識の向上にも繋がりサービスの改善策に自主的に取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議は定期的に行われており、サービスの状況報告や意見交換会が行われている。入居者代表による委員もおり、入居者の意見や希望を重視する姿勢が伺われる。今後も運営推進会議を活用しながら、地域密着型サービスとしてさらに地域に溶け込んでいけるような方策の工夫に期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	苦情処理委員会が設置されており、面会時や電話連絡、ホーム便りの発行など定期的な報告がされている。また、日常的に外出する機会が多く入居者の自宅を訪問するなど自宅で家族と交流する場面も見られる。今後、家族会の結成による意見の収集やアンケート調査など家族の気持ちや意見をさらに引き出すような工夫を期待したい。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	多くの場面で地域との協力関係が得られていることが感じられる。現状の地域交流や協力関係を維持しつつ、今後、ホーム側の地域貢献として、地域に住む高齢者に対する何らかの支援が出来ないかホーム側も検討している。地域高齢者に対する相談やサービスの拠点のひとつとして当ホームの活躍に期待したい。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所以来、事業所独自の理念を作り上げて実践しており、スタッフ、入居者にも浸透している。	○	これまでの理念に、新しく地域密着型サービスとしての理念を加えて構築して取り組んでいくよう期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	食事前には理念の唱和を行い、職員のみでなく入居者も理念の共有を意識しながら日々の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会への参加や交流など、これまでの取り組みの努力により当ホームの認知度が地域でも高まり、気軽に地域住民との挨拶が行われるようになっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価を行うことで自己評価及び外部評価への意義を理解し、さらにスタッフの意識の向上にも繋がってサービスの改善策に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者代表による委員を含めた運営推進会議が定期的に行われており、サービスの状況報告や意見交換会を行っている。	○	運営推進会議を活用しながら、地域密着型サービスとしてさらに地域に溶け込んでいけるような方策の工夫に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>包括支援センター職員が運営推進会議の委員として参加し、情報の提供はあるものの、市町村の担当者と係わる機会が少ない。</p>	○	<p>情報の提供だけでなく、市町村担当者と意見交換を行うことで連携を深め、地域密着型としてのさらなるサービスの向上に期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話、ホーム便りの発行など定期的に報告がされている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情処理委員会を設置しているが、家族からの苦情や意見がほとんど見られない。</p>	○	<p>家族会の結成による意見の収集やアンケート調査など家族の気持ちや意見を引き出すような工夫を期待したい。</p>
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の人事異動は少なくし、離職した職員へも気軽にホームへ立ち寄るよう声かけし、行事等ボランティアで参加し行事を盛り立てている。</p>	○	<p>法人内の人事異動が急に決まることがあったとのことで、十分な引継ぎの期間や利用者への配慮などを工夫していただきたい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修参加や定例職員会議でも30分程の勉強会を開催するなど取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県グループホーム連絡会への参加や交流を通してサービスの向上に取り組んでいる。</p>	○	<p>今後は八重山郡の地域密着型サービス施設の連絡会の立ち上げや交流会の構築に期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時はホームの見学を行い入居者や職員と触れ合う場面を作り、なれてもらうよう工夫している。また、入居時には不安を和らげるために家族に泊まって頂くようにする場合もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理作りや片付け等一緒に行い、また利用者から教わってもらえるような関係作りを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の言動から入居者の思いを把握し寄り添うケアを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族を含めてケアプランの作成を行っているが、スタッフが入居者一人ひとりのケアプランを理解したケアが現状では困難である。	○	スタッフが一人ひとりのケアプランを熟知し、プランに沿ったケアや記録が出来るよう個人記録用紙など記録面での工夫が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの定期的な見直しや必要時の見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	今年度中にはショートステイの受け入れを行う予定である	○	医療連携体制の整備や地域の認知症高齢者に対する相談支援などさらに地域の施設としての役割に期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一人ひとりのかかりつけの医療機関での受診を行い、家族での対応が困難な場合はホーム側で対応し、適切な医療が受けられるようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への取り組みは現在行われていない。	○	入所者の高齢化や重度化などの観点から、関連機関との話し合いや医療連携体制の整備など終末期に向けた方針を検討するよう取り組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心やプライバシーを損ねないように対応し、個人情報の取り扱いには注意している。	○	個人情報保護の観点から職員への守秘義務の誓約書が望ましいと思われる。また、入居者の居室へ入る場合には一声かけて入るよう期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合でなく、一人ひとりの生活のペースを大切にし、入居者の希望に沿った支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理作りや食事摂取、後片付け等スタッフも一緒に行い、入居者の食べたいものを献立に取り入れるなど、入居者と一帯となった支援がなされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ハード面で浴槽の問題はあるものの入居者本人の希望に沿った時間やタイミングなどに合わせている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力量に合わせて役割や楽しみごとがあり、社交ダンスが好きな入居者は、隣接する老人クラブ趣味の会のダンスクラブへ出かけ楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的な遠足やドライブや買い物など日常的に外出を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りや付き添いを行うことで鍵をかけないケアを行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルなどを現在作成中であるが避難訓練の実施などがまだ行われていない。	○	防火管理者の設置や消火器の点検、地域住民の協力を得ながらの避難訓練など定期的に行うよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量を把握し、毎日記録にしている。メニューについては必要に応じて法人の管理栄養士へ相談を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソファやテーブルなどゆったりと出来るスペースが作られ、思い思いの場所でくつろげる雰囲気を作り、ゆったりとした時間を過ごしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた置物や椅子なども持ちこんでいる。	○	入居者により居室の持ち込みに差が見られる。家族への協力依頼を行いながら、入居者個々の個性が感じられるような居室作りを期待したい。